

悪の性質 十カ条

悪にはいろいろな性質があります。私は中高生に法話をするときは、しばしば「悪を考える」というテーマで語ります。

話の最初に会場の電気を消し、先生も生徒も、全員が目を閉じてもらいます。そして私は小声で、そっと次の質問をします。

「万引きをしたことがある人、胸に手を当ててください… (二、三秒)。はい、ありがとうございます」点灯。大学生に尋ねてみても数名いるものです。

生徒は万引きの話に首を乗り出してきます。先生も興味津々。まさかうちの生徒にはいないだろうと思っているようですが、案外いるものです。そこで「悪の性質 十カ条」を以下のように考えてみました。胸に手を当てながら読んでください。

- ② 隠蔽＝包み隠す⇒人に見られることを恐れる。
- ② 記憶＝いつまでも覚えていなければならない⇒あのときの事は絶対に秘密。
- ③ 冒険＝スリルがある⇒盗みでドキドキ感を味わう。
- ④ 誘惑＝甘く誘ってくる⇒一攫千金に勧誘される。
- ⑤ 伝染＝仲間うつす⇒コロナ禍と同じ。
- ⑥ 習慣＝慣れていく⇒小さな悪い癖が日常化して当たり前になる。
- ⑦ 蓄積＝積み(罪)重ねる⇒嘘に嘘を塗り重ねて自分を正当化する。
- ⑧ 日常＝いつでもどこでも行える⇒「空にいても、海にいても、山にいても、およそ世界のどこにいても、悪業から逃れる場所はない」(法句経)。
- ⑨ 透視＝知って行わない⇒指導者になる条件である。
- ⑩ 懺悔＝反省して許される⇒梵網経の趣旨。

以上の法話は「悪の性質」だけで一時間が終わってしまいます。「善の性質」は宿題にして、各自で考えてもらいます。悪の性質をしっかりと学べば、善の性質は自ずと悟ることができます。なぜならば、誰にでも良心があるからです。「善の性質」は次号で述べますが、皆さんも予め考えて下さい。